

# 行歯会だより (アドバイザー紹介特集号) 2005年10月 (臨時増刊)

(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会)

行歯会では、メーリングリストでの会員質問に答えるため、15人の専門家にアドバイザーをお願いしています。アドバイザーは常にメーリングリストへの発言に目を通してきています。そして会員からの発言内容に応じて適宜アドバイスしていただくことになっています。アドバイザー宛の質問もOKです。どんどんアドバイザーを活用して下さい。それではアドバイザーの自己紹介文をどうぞ(銅像の前を通ったら銅像が言った「どうぞ」)...

## 厚生統計を利用した歯科保健の状況を提供

栃木県立衛生福祉大学校(歯科技術学) 青山 旬

栃木県立衛生福祉大学校で歯科衛生士と歯科技工士の養成を行っています。県行政にも係わっています。昨年度まで国立保健医療科学院所属で、数年間ほど厚生労働省統計情報部保健統計室を併任しています。行歯会だよりで隔月で厚生統計の特徴と応用例を掲載しており、そこで既存統計を利用した歯科保健のいろいろな角度で取り上げる予定です。必要な集計のご要望がありましたら可能なものについて掲載したいと思います。よろしくお願ひします。



## 行歯会がクリエイティブな場になることを期待して

国立保健医療科学院(口腔保健部) 安藤雄一

私は20世紀まで新潟大学歯学部予防歯科学教室に勤務し、21世紀より職場が変わり現在に至っております。

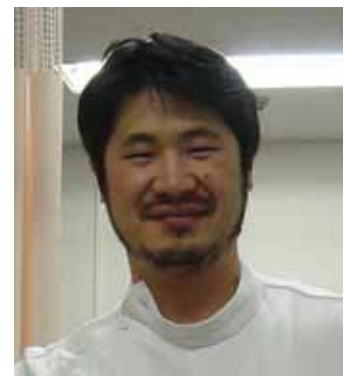
歯科の疫学・医療経済分析、フッ化物利用、地域診断等の研究に関わっていますので、アドバイザーとして皆様のお役に立てれば幸いです。

また、行歯会では事務局を担当しており、「行歯会だより」の編集等に携わっています。行歯会の設立は日本の歯科保健にとって画期的な出来事です。皆さんとともに何かを創っていきたくと思っています。

## 摂食・嚥下障害のご質問お受けいたします

岡山大学医学部歯学部附属病院  
(摂食・嚥下リハビリテーション部門) 石田 瞭

皆様はじめまして。私は平成15年から温暖な岡山で摂食・嚥下リハビリテーションの仕事をしています。勤務先は行政機関ではなく大学病院のため、日頃は摂食・嚥下の臨床が中心となります。対象患者は0歳児から90歳を超える高齢者で、現在は院内の患者が多い状況です。行政歯科の皆様にとどのような形でお手伝いできるか不安なところはありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



## 疫学と産業保健と歯科保健



### 産業医科大学産業生態科学研究所(臨床疫学) 井手玲子

私の専門分野をタイトルに列記してみました。所属の産業生態科学研究所は、産業医学とその周辺領域を包括するユニークな研究教育機関です。私は、疫学の講義や研究デザインプランニングの実習などを担当し、自身の研究テーマとして産業歯科保健を手がけています。産業保健という大きな枠組みのなかで歯科をどう位置付けていくか、また、有機的な成人歯科保健を考える上で、地域と職域との連携は重要なポイントと考えます。どうぞよろしくをお願いします。

## 口腔保健技術室の仕事

### 国立保健医療科学院(口腔保健部) 今井 奨

初めまして。厚生労働省・国立保健医療科学院(和光市)の今井と申します。

私の属する口腔保健技術室では、「口腔に関連する疾患の予防技術に関する評価および調査研究」を行っています。もっと具体的にはう蝕・歯周病のリスク判定や予防技術の開発、評価に関する研究、たとえば代用甘味料、機能性食品、う蝕ワクチン、バイオフィーム形成阻害剤、抗菌剤、口臭検出技術等の開発やそれらの効果判定などを行っています。どうぞよろしく願い致します。



## 地域医療連携

### 長崎大学医学部・歯学部附属病院 (地域医療連携センター) 川崎浩二

新潟大学卒業後、長崎大学予防歯科学講座に20年間在籍しておりましたが、平成15年4月から現職に勤務しております。国の施策により地域の病院では入院医療から在宅医療へとシフトが進むとともに、病院の機能分化が起こり、医療連携なくして地域医療はできない状況になっています。こういった変化の中で大学病院としての地域医療連携(退院支援、他医療機関との連携、離島・へき地医療支援、医歯連携等々)を暗中模索する日々を送っています。

## 行政職に求められているヘルスケアの実践

### 東京医科歯科大学歯学部 口腔保健教育研究センター 佐々木好幸

職場での私の本務は既卒歯科衛生士の生涯学習支援で、専門領域はE B Mに関する教育です。現在E B Mという言葉だけが一人歩きしており、多くの場合、独自の誤った解釈によって誤った適用をしています。ヘルスケア領域においても、根拠に基づくことが求められていますが、それを鵜呑みにするのではなく、自分で考えて吟味し、自分の地域に適用できるかどうかを多面的に判断することが必要です。このメーリングリストで、問題解決型のアドバイスができればと思っています。





**みなさん、こんにちは。**

**東京歯科大学(衛生学) 杉原 直樹**

なぜ私がアドバイザーに指名されたのかよくわかりませんが、私で何か皆さんのお役に立つことがあれば、いつでも言ってください。一応専門は、歯科疫学、地域歯科保健、行動科学などです。現在大学では教育に費やす時間が多くなり、研究に使える時間が少なくなっているのが現状ですが、基本的には汗を流して調査することが大好きです(単なる汗っかきだというご意見もありますが)。メーリングリストによる意見交換は必ずチェックするようにしています。いつも皆さんのアクティブな意見交換を見ていて感心しています。

## 社会福祉士と歯科衛生士の視点から

**新潟大学歯学部(口腔生命福祉学科) 隅田好美**

歯科診療所、歯科衛生士専門学校の勤務を経て、山口県立大学社会福祉学部に入學し、その時に社会福祉士、介護支援専門員、養護学校教諭等の資格を取得しました。その後、大阪府立大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程、博士後期課程へと進み、平成16年4月に現在の職に就きました。研究テーマは、地域における重度障害者や高齢者の精神的支援や自立支援です。現在は、筋萎縮性側索硬化症患者への精神的支援について社会福祉士の視点から研究を進め、摂食嚥下リハビリテーションについても学んでいます。



## フッ化物の情報あります。お気軽に・・・

**日本大学松戸歯学部(社会口腔保健学) 田口千恵子**

メーリングリストアドバイザーという役を拝命いただきましたが、まだまだ、私自身が発展途上状態にあり、何が出来るか未知ではあります。現在、小林清吾教授の下で、フッ化物の生体利用能、公衆衛生学的応用法(特にフロリデーション)について研究を進めております。小林教授の助言をあおぎながら、特にフッ化物については、正しい情報をお伝えできると思っております。

会員の皆様には、地域の健康格差の是正(健康の公正)をめざし、地域歯科保健を推進していただきたいと思っております。その一助として、微力ではありますが、努力を惜しまないつもりでおりますのでよろしく願いいたします。



## EBMって役に立ちますか？

**福岡歯科大学(総合歯科) 内藤 徹**

友人から「エムドゲイン」なるもので歯周病が治るぞと聞けばさっそく患者に試み、「抗カビ剤」が効くぞという噂を聞くやすぐに業者に発注し - こういう、噂や伝聞による歯科医療に内省を行い、確かな臨床研究に裏付けされた科学的根拠・術者の診療技術・患者の選好のいずれにも重きを置いた医療を提供しようという考え Evidence-Based Medicine (EBM) です。現在、EBM関連の雑誌、Journal of Evidence-Based Dental PracticeおよびEvidence Based Dentistry Journalの編集委員をしており、この分野ではアドバイス可能です。





## 国際歯科保健、唾液検査、ミュータスレンサ球菌

### 国立保健医療科学院(口腔保健部) 花田信弘

本当の専門はミュータスレンサ球菌の細菌学ですが、最近役職上の必要に迫られて国際歯科保健と唾液検査について勉強中です。この3つを担当したいと思います。1992年前後に世界各国で実施されたWHOの国際協力研究(ICSII)では、実際に山梨県下の歯科検診を担当しましたので、多少は実績もあります。また、唾液検査では厚生労働研究「効果的な歯周研究のリスク判定法および予防体系の開発」の主任研究者を日本歯科大学の鴨井久一教授から引き継いで行っています。アドバイスすることよりも、皆様にアドバイスしていただく方が多いと思いますが、よろしくお願い致します。

## ボランティアに参加しませんか

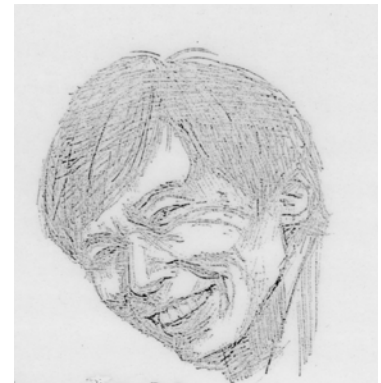
### 広島大学大学院医歯薬学総合研究科 (予防歯科学) 森下真行

カンボジアの貧しい子供たちが教育を受けられるよう、支援をしています。これまでに3回、カンボジアを訪問しました。

(<http://www.gionkyokai.jp/html/sub10.html>)

また、ベトナムのストリートチルドレンに対する無償歯科治療にも協力しています(<http://www.javdo.org/>)。

事務局注)上記文面、森下先生はアドバイザー自己紹介欄の乱用罪により、皆さん、どんどん予防歯科の質問をしてあげましょう。



## はじめましてのご挨拶

### 東京医科歯科大学歯学部(口腔保健学科) 吉田直美

はじめまして。

日々送られてくる行歯会のメールを見ていると、皆さんの活発な意見交換を感心しつつ、沢山の刺激を与えられ、メーリングリストのすごさを感じています。

私は、これまで保健行政に従事している方々に何かと刺激を受けることが多く、その影響からか公衆衛生分野と歯科医療行動科学分野に数年ずつ所属していました。

行政の仕事に就くことはありませんでしたが、こうした形で関わられてとても嬉しいです。微力ですがよろしくお願いいたします。



## 歯科保健行政の大変さ

### 福岡歯科大学(社会歯科学) 渡辺 猛

私は平成8・9・11年に47都道府県歯科保健主管課長あてにスライド等を送付させていただいたので、覚えておいでの方がいらっしゃるかもしれません。

6月と7月のメーリングリストにおける活発なやりとりを拝読して、歯科保健行政の大変さを実感することができました。この度アドバイザーという役を仰せつかりましたが、最近が多忙にかまけて文献を読んでいません。どこまでアドバイスできるか自信ありませんが、よろしくお願いいたします。

